

平成29年度 第5回全体庁議（8月10日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(2) 新しい総合計画の策定方針（案）について[政策推進部]
----	-------	--------------	--------------------------------

■ 提案・報告の趣旨

今年度より策定作業を進めることとしている、次期総合計画について、計画の策定方針を8月30日の総務委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

- 1 計画策定の趣旨
 - ・人口減少、少子高齢化の進行に伴い、地域経済の縮小や財政の硬直化が懸念されるため、これまで提供してきた行政サービスの見直しを図るなど、効率的な行財政運営を進めていく必要がある。
 - さらには、公共施設の老朽化や地域全体で支え合う社会づくりなど、右肩上がりの時代とは異なる複雑・多様な課題への対応が求められる。
 - ・こうした時代において、市民と行政がまちづくりの目標を共有し、効率的で持続可能な活力あるまちづくりを進めていくための指針として、帯広市まちづくり基本条例に基づき策定するもの。
- 2 新しい総合計画策定の考え方
 - ・今後は、市民ニーズの変化などを的確に捉え、これまで提供してきた行政サービスのあり方について、行政の役割や多様な主体の参画などの検証を行いながら、人口減少・少子高齢化社会に対応したまちづくりを進めていく必要がある。
 - ・一方で、産業振興や人材育成など、将来のまちづくりにつながる施策を進めていく必要があることを踏まえ、事業の選択と集中を図る視点を持ち、「目標を明示し、達成度がわかる計画」、「予算と連動した実効性を有する計画」、「社会経済情勢の変化に柔軟に対応できる計画」の3つの考え方に基づき策定に取り組む。
- 3 計画の構成
 - ・基本構想、基本計画、推進計画で構成
- 4 計画の策定手法・体制
 - ・総合計画推進委員会を中心として庁内検討を進めるほか、総合計画策定審議会への諮問や、市民アンケートなどの実施により市民参加を得ながら策定を進める。
- 5 策定スケジュール
 - ・今年度は、庁内検討を進めるほか、市民アンケート等を実施する。
 - ・平成30年度は、総合計画策定審議会への諮問、答申をいただくほか、引き続き庁内検討を進める。
 - ・平成31年度は、市民意見の把握などを行い、基本構想を議会に提案し、議決をいただく予定。
- 6 その他
 - ・総合計画の策定に合わせて策定する分野計画については、本策定方針の方向性に即して策定するほか、国や北海道の動向を踏まえて策定するもの。

■ 今後のスケジュール

- ・平成29年 8月30日 総務委員会へ報告
- ・平成29年 9月～ 庁内検討
- ・平成29年11月～12月 市民アンケート等の実施

■ 審議結果

- ・同内容で、8月30日の総務委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

- ・特になし。